

## 合同企画

9月19日(木) 第2会場 [木曾(1F)]

11:00-12:30 合同シンポジウム1 APS1

日本公衆衛生学会合同シンポジウム  
健康寿命延伸のための飲酒対策を考える

オーガナイザー：平田 あや (慶應義塾大学 医学部衛生学公衆衛生学)

座長：神田 秀幸 (岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野)

平田 あや (慶應義塾大学 医学部衛生学公衆衛生学)

APS1-1 健康日本21(第三次)における飲酒対策の概要と飲酒の循環器病リスク

岡村 智教

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学

APS1-2 飲酒習慣とがんリスク

井上 真奈美

国立がん研究センターがん対策研究所

APS1-3 20歳未満の者への飲酒対策

金城 文、尾崎 米厚

鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野

APS1-4 高齢者の保健事業における飲酒対策

平田 匠

東京都健康長寿医療センター研究所

9月19日(木) 第2会場 [木曾(1F)]

14:10-17:10 共催ワークショップ APWS

オーガナイザー：白坂 知彦 (深仁会 手稲深仁会病院 精神保健科)

原田 隆之 (筑波大学 人間系)

座長：小松 知己 (沖縄協同病院 リエゾンセンター)

APWS アルコールアディクション医学会・総合病院精神医学会 共催ワークショップ  
「みんなできる！はじめての動機づけ面接 ～日常臨床に取り入れてみよう～」

白坂 知彦<sup>1)</sup>、小松 知己<sup>2)</sup>、原田 隆之<sup>3)</sup>、北田 雅子<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup>手稲深仁会病院 精神保健科 <sup>2)</sup>沖縄協同病院 リエゾンセンター・心療科 <sup>3)</sup>筑波大学 人間系

<sup>4)</sup>札幌学院大学 人文学部

## 9月20日 第2会場 [木曾(1F)]

## 13:10-14:40 合同シンポジウム2 APS2

## 医療機関・地域でのアルコール問題早期介入 ～介入技法のバリエーションとその適応～

オーガナイザー：角南 隆史(地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館)  
 杠 岳文(特定医療法人社団 宗仁会 筑後吉井こころホスピタル、  
 独立行政法人 国立病院機構 肥前精神医療センター)

座長：角南 隆史(地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館)  
 杠 岳文(特定医療法人社団 宗仁会 筑後吉井こころホスピタル、  
 独立行政法人 国立病院機構 肥前精神医療センター)

## APS2-1 HAPPYプログラム

杠 岳文<sup>1,2)</sup>

1) 筑後吉井こころホスピタル 2) 肥前精神医療センター

## APS2-2 Ultra-BIプログラムの紹介

手塚 幸雄<sup>1)</sup>、福田 貴博<sup>2)</sup>、河合 麻衣子<sup>3)</sup>、櫻井 純子<sup>4)</sup>、角南 隆史<sup>5)</sup>、白坂 知彦<sup>6)</sup>、長嶺 紘子<sup>7)</sup>、  
 真栄里 仁<sup>8)</sup>、武藤 岳夫<sup>9)</sup>、足達 淑子<sup>10)</sup>、杠 岳文<sup>11)</sup>1) 沖縄リハビリテーションセンター病院 2) あきやま病院 3) 東京女子医科大学 4) 湘南鎌倉医療大学  
 5) 佐賀県医療センター好生館 6) 手稻溪仁会病院 7) トヨタ自動車株式会社 8) 琉球病院 9) 向陽台病院  
 10) あだち健康行動学研究所 11) 筑後吉井こころホスピタル

## APS2-3 標準的簡易介入プログラム(ABCDプログラム: Alcohol Brief Counseling for Drinkers program)について

真栄里 仁<sup>1)</sup>、河合 麻衣子<sup>2)</sup>、櫻井 純子<sup>3)</sup>、角南 隆史<sup>4)</sup>、白坂 知彦<sup>5)</sup>、手塚 幸雄<sup>6)</sup>、長嶺 紘子<sup>7)</sup>、  
 福田 貴博<sup>8)</sup>、武藤 岳夫<sup>9)</sup>、足達 淑子<sup>10)</sup>、杠 岳文<sup>11)</sup>1) 琉球病院 2) 東京女子医科大学 3) 湘南鎌倉医療大学 4) 佐賀県医療センター好生館 5) 手稻溪仁会病院  
 6) 沖縄リハビリテーションセンター病院 7) トヨタ自動車株式会社 8) あきやま病院 9) 向陽台病院  
 10) あだち健康行動学研究所 11) 筑後吉井こころホスピタル

## APS2-4 短時間外来治療の手引きABCDEプログラム

湯本 洋介

国立病院機構久里浜医療センター

## 9月20日 第3会場 [穂高(3F)]

## 9:00-10:30 合同シンポジウム3 APS3

アルコール診療の医療連携とはいうものの・・・  
 ～内科・精神科・コメディカルの垣根を超えるために必要なもの

オーガナイザー：菊池 真大(旗の台病院 東海大学医学部付属東京病院 消化器内科)  
 杉原 正子(まさこ心のクリニック自由が丘)

座長：菊池 真大(旗の台病院 東海大学医学部付属東京病院 消化器内科)  
 杉原 正子(まさこ心のクリニック自由が丘)

## APS3-1 アルコール診療で内科医が果たすべき役割は

菊池 真大<sup>1,2,3)</sup>、菊池 美穂<sup>1,2)</sup>、小西 正洋<sup>1)</sup>

1) 用賀きくち内科 肝臓・内視鏡クリニック 2) 旗の台病院 3) 東海大学医学部付属東京病院 消化器肝臓センター

- APS3-2** アルコール診療における精神科クリニックの組織間連携  
～退院支援カンファレンスと外来集団療法を中心に～  
杉原 正子  
1) まさこ心のクリニック自由が丘 2) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター  
3) 独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター 4) 東京医科歯科大学大学院医師歯学総合研究科
- APS3-3** 依存症患者にとって役に立つ医療者の関わりとはどのようなものか  
水野 有紀  
昭和大学附属烏山病院
- APS3-4** アルコール診療における看護職の特性と抱える問題 チーム医療構築に向けて  
佐藤 寧子<sup>1,2,3)</sup>  
1) 慶應義塾大学SFC研究所 2) 大阪大学大学院医学系研究科 3) 淀川キリスト教病院
- APS3-5** アルコール関連疾患診療の連携 消化器内科の立場から  
白石 光一  
東海大学医学部附属東京病院消化器内科

9月20日(金) 第3会場 [穂高(3F)]

10:40-12:10 合同シンポジウム4 APS4

新疾患概念Met-ALDを考える

オーガナイザー：池嶋 健一(順天堂大学大学院 医学研究科 消化器内科学)  
今 一義(順天堂大学 医学部消化器内科)  
座長：池嶋 健一(順天堂大学大学院 医学研究科 消化器内科学)  
徳重 克年(東京女子医科大学 医学部消化器内科)

- APS4-1** 当院におけるMetALDの臨床像と臨床経過の検討  
小木曾 智美、小笠原 友里、谷合 麻紀子、中井 陽介  
東京女子医科大学 消化器内科
- APS4-2** 本邦での健診受診者におけるMetALDの特徴  
三浦 光一<sup>1)</sup>、藤井 秀樹<sup>2)</sup>、高橋 宏和<sup>3)</sup>、鎌田 佳宏<sup>4)</sup>、JSG-NAFLD  
1) 自治医科大学消化器内科 2) 大阪公立大学医学部附属病院肝胆膵病態内科学  
3) 佐賀大学医学部附属病院肝疾患センター 4) 大阪大学大学院生体物理工学講座
- APS4-3** MetALDの診断 –現状と今後の課題–  
今 一義、池嶋 健一  
順天堂大学 医学部 消化器内科
- APS4-4** 脂肪性肝疾患の新疾患概念・年齢・性別から見た肝発癌率と食事運動療法の長期治療成績  
芥田 憲夫  
虎の門病院肝臓内科
- APS4-5** 切除不能肝細胞癌免疫複合療法におけるMet-ALDのインパクト  
土谷 薫、安井 豊、内原 直樹、高浦 健太、田中 将平、前屋舗 千明、玉城 信治、中西 裕之、  
泉 並木、黒崎 雅之  
武蔵野赤十字病院 消化器内科

## 9月21日(土) 第3会場 [穂高 (3F)]

## 13:30-15:00 合同シンポジウム5 APS5

## アルコール性肝障害の未来地図～若手医師にとってのアルコール性肝障害診療の現状と課題～

オーガナイザー：岡村 幸重 (佐野厚生総合病院 消化器内科)  
 菊池 真大 (旗の台病院 東海大学医学部付属東京病院 消化器内科)

座長：岡村 幸重 (佐野厚生総合病院 消化器内科)  
 菊池 真大 (旗の台病院 東海大学医学部付属東京病院 消化器内科)

## APS5-1 アルコール性肝硬変患者の診療における問題点

齋藤 直宏、岡村 幸重  
 佐野厚生総合病院

## APS5-2 若年者のアルコール性肝障害の問題点 ～専攻医の立場から～

伊藤 悠太<sup>1)</sup>、岡村 幸重<sup>2)</sup>  
<sup>1)</sup>東京歯科大学市川総合病院、<sup>2)</sup>佐野厚生総合病院

## APS5-3 本邦の重症アルコール性肝障害患者の現状 ～消化器内科の立場から～

大塚 祐治<sup>1)</sup>、岡村 幸重<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>さいたま市立病院、<sup>2)</sup>佐野厚生総合病院

## APS5-4 アルコール性肝硬変の治療介入の重要性

近藤 まゆ子<sup>1)</sup>、岡村 幸重<sup>2)</sup>  
<sup>1)</sup>立川病院 <sup>2)</sup>佐野厚生総合病院

## 9月21日(土) 第1会場 [淀・信濃 (1F)]

## 9:00-11:00 産業医研修会2 産業医研修2

## 職域での健康診断および保健指導におけるアルコール健康障害への対応

## 産業医研修2-1 健康診断および保健指導におけるアルコール健康障害への早期介入に関するガイドラインについて

吉本 尚<sup>1,2)</sup>、菊池 亜矢子<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>筑波大学健康ライフスタイル開発研究センター <sup>2)</sup>筑波大学医学医療系 地域総合診療医学

## 産業医研修2-2 産業保健活動・特定健診等での飲酒指導のポイント

岡村 智教  
 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学

## 産業医研修2-3 職域におけるアルコール健康障害対策の実態と課題

菊池 亜矢子<sup>1)</sup>、西浦 千尋<sup>2,3)</sup>、吉本 尚<sup>1,3)</sup>  
<sup>1)</sup>筑波大学健康ライフスタイル開発研究センター <sup>2)</sup>理化学研究所和光事業所研究支援部人事課  
<sup>3)</sup>筑波大学医学医療系地域総合診療医学

## 産業医研修2-4 KMバイオロジクス(株)におけるアルコール問題への取り組み

毛井 順子<sup>1)</sup>、宮田 真理子<sup>1,2)</sup>  
<sup>1)</sup>KMバイオロジクス株式会社総務部付健康管理室

9月21日(土) 第1会場 [淀・信濃(1F)]

13:30-15:30 市民公開講座 CPL

多様化する依存：物質に依存する原因と新たな依存について

座長：松下 幸生 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

CPL1

人はなぜアルコールや薬物にハマるのか？

松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

CPL2

ネット・ゲーム依存の今と克服すべき新たな問題

樋口 進

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター